

別記様式

事件調査報告書

| | | | | | | |
|--|--------------------|----------|-------|-------------|-----------------------|--------|
| 被災児童 生徒等 | フリ 氏 カナ 名 | | 学年 | | 性別 | 男 女 |
| 災害発生場所 | | 災害発生の場合 | | | | |
| 災害発生の日時 | 平成〇〇年〇〇月〇〇日 | 午〇〇〇時〇〇分 | 死亡年月日 | | 平成〇〇年〇〇月〇〇日 | |
| <p>1 事件の原因別 《主たる理由を1つ選択し□にレのチェック》</p> <p>(1) 学校問題 <input type="checkbox"/>いじめ <input type="checkbox"/>教師の指導 <input type="checkbox"/>体罰 <input type="checkbox"/>友人関係の不和 <input type="checkbox"/>学業問題 <input type="checkbox"/>その他 ()</p> <p>(2) 家庭事情 <input type="checkbox"/>家庭不和 <input type="checkbox"/>父母等の叱責 <input type="checkbox"/>その他 ()</p> <p>(3) その他 <input type="checkbox"/>病気等による悲観 <input type="checkbox"/>厭世 <input type="checkbox"/>異性問題 <input type="checkbox"/>精神障害 <input type="checkbox"/>その他 () <input type="checkbox"/>不明</p> | | | | | | |
| <p>2 「1」でのチェックした原因の具体的内容《原因となった事件の発生状況及び原因を特定した理由を記載》</p> <p style="text-align: right;">※原因把握の参考となる資料がある場合は添付してください。</p> | | | | | | |
| 原因発生の場所 | | 原因発生の場合 | | 原因発生の 時期 | 平成 年 月 日～ 平成 年 月 日 | |
| <p>3 学校外の生活等において特に事件の原因となるような問題はなかったか。《選択し□にレのチェック》</p> <p><input type="checkbox"/> 特に問題はみられなかった。 <input type="checkbox"/> 問題があった。 <input type="checkbox"/> その他 ()</p> <p>◆ 「問題があった。」「その他」の場合その詳細</p> | | | | | | |
| <p>4 児童生徒の既往症について。《選択し□にレのチェック》</p> <p><input type="checkbox"/> 特に既往症はなかった。 <input type="checkbox"/> 既往症があった。</p> <p>◆ 「既往症があった。」の場合その詳細</p> | | | | | | |

※ 記載要領については裏面をご覧ください。

(注) この請求書の用紙は、日本工業規格A3横型とすること

5 行政上の措置等 《本件事件に関する、措置等の状況を記載》

(1) 行政・学校 《本件事件の関係者に係る法務局、教育委員会、学校による処分等があれば、その内容を記載》

(2) 民事 《本件事件について、関係者間で示談・調停・裁判等を行っている場合は、その状況を記載》

(3) 刑事 《本件事件の関係者について、刑事上の処分があれば、その内容を記載》

6 調査委員会等 《調査委員会の調査結果の概要を記載、調査の別：内部調査、第三者による調査》

※調査結果に関する資料を添付してください。

記載のとおりです。

平成 年 月 日

学 校 名

所 在 地

校 長 氏 名

印

※ 本報告書に記載しきれない場合は、別紙に記載し添付してください。

記 載 要 領

- (ア) 事件調査報告書の「1 事件の原因別」については、調査委員会等の結論に基づいて記載すること。
なお、「いじめ」については、文部科学省が実施している「**児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査**」の中の定義によるものとする。
また、「体罰」とは「身体への侵害や肉体的な苦痛を与える行為」で現に懲戒処分の対象となったものとする。
- (イ) 事件調査報告書の「2 原因の具体的内容」については、学校の管理下で、どのようないじめ等があったのか、どこで行われたのか等について、具体的に記載すること。
- (ウ) 事件調査報告書の「3 学校外の生活等～」については、学内の担任教師等の関係者に聴取することはもとより、当該児童生徒等の保護者にも聴取し記載すること。
- (エ) 事件調査報告書の「4 児童生徒の既往症～」については、学内の養護教諭等の関係者に聴取することはもとより、学校医等の専門家及び保護者の意見も聴取し記載すること。
- (オ) 事件調査報告書の「5 行政上の措置等」については、行政、民事、刑事上の措置の状況について記載すること。特に法務局が「学校における「いじめ」に関する人権侵犯事件」として取り扱い「勧告」等の措置が行われている場合は、その内容を記載。
- (カ) 事件調査報告書の「6 調査委員会等」については、調査委員会の結果の概要を記載する。また、調査委員会等の構成（職名、所属等）を記載すること。